

CASBEE 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ドリーミー今出川	階数	地上5F
建設地	京都府京都市上京区毘沙門町764番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	106 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年3月 予定	評価の実施日	2013年4月23日
敷地面積	1,385 m ²	作成者	江見順次
建築面積	827 m ²	確認日	2013年4月23日
延床面積	2,704 m ²	確認者	江見順次



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 62%
③上記+②以外の 61%
④上記+ 61%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.5**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.6

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.1**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ・5階建となるため、外壁の素材をいくつか用いて大きな壁面を分節し周辺住宅のスケールと馴染むように配慮した。 ・計画建物を敷地南側に寄せて配置することで、日影の影響が少なくなるよう配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 居室に使用する建材は全て4☆のものとし、シックハウスが起らないよう配慮した。	Q2 サービス性能 節水型器具を採用することで節水に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 街並みに貢献できる意匠計画とし、京都市景観条例に基づく認定を取得した。
LR1 エネルギー 太陽光発電パネルを設置し、自然エネルギーを利用する取り組みを行っている。	LR2 資源・マテリアル 特になし	LR3 敷地外環境 日影規制を満たした建築計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCO₂の算定条件等については、「LCO₂算定条件シート」を参照されたい